

令和元年度 第1回秋葉区自治協議会提案事業検討委員会 会議概要

日時 令和元年9月13日(金) 午前10時～
会場 秋葉区役所3階 ミーティングルーム
出席者 委員(名簿順)
小林委員、阿部委員、佐藤委員、金子委員、須田委員、本田委員
計6名(欠席 湯田委員、田中委員、花水委員、島倉委員)
事務局
地域総務課職員2名

内容

(1) 開会

(2) 協議題

①提案事業検討委員会について

事務局から、9月本会議での資料に基づき、今後のスケジュールの再確認及び提案事業検討委員会の役割について説明しました。

<提案事業検討委員会の役割>

- ・提案事業の取組み方法を協議し決定する。
- ・各部会の提案事業における予算配分を協議し決定する。
- ・提案事業に関して、協議した上で適宜区自治協議会に提案や報告を行う。
- ・その他、運営に必要なことは委員会で協議し決定する。

②委員長の選出について

提案事業検討委員会には委員長をおくこととなっており、阿部委員が選出されました。

③ 令和2年度区自治協議会提案事業(委員からの提出アイデア)について

検討の結果、提出された6件のアイデアのうち2件を提案事業として取り組むことになりました。

<検討結果 ⇒ 取り組む>

秘湯・「新津温泉」の情報発信

- ・かわら版及びラジオ番組内に施設を紹介するコーナーを設けるなど、既存の広報媒体を活用し、広報部会にて取り組むことができる。
- ・パンフレットの作成や、新津駅東西自由通路の大型バナー掲示など、多くの人の目に留まるような取り組みを検討する。

区民幸福度調査事業

- ・「区民主動サポート宣言」を掲げている自治協議会の取り組みとして、区民主動を促す良い刺激になる。
- ・担当部会を決めるのではなく、自治協議会内でワーキンググループを立ち上げるなど、横断的に取り組んではどうか。

<検討結果 ⇒ 取り組まない>

JR新津駅前広場とケヤキ通りに七夕飾りとクリスマスイルミネーションを飾る

- ・自治協議会が主体として行う事業として適していない。
- ・地元住民や商店街が立ち上がり実施するイベントではないか。

「にぎわいの里」ウィーク～音楽と芸能の祭～

- ・秋葉区文化振興協会が主体となって実施するイベントではないか。
- ・自治協議会の協力が必要であれば、「課題解決きらめきサポートプロジェクト」に提案してもらうことで、対応できるのではないか。

学生の居場所・学びづくり

- ・場所を用意しただけでは、勉強をするために集まるだけとなり、交流は難しい。
- ・居場所のない子どもたちを外に出させるプロセスが難しい。
- ・幸福度調査で子どもたちの声を聞いてから検討してもよいのではないか。

秋葉区 区民活動支援センター 設立プロジェクト

- ・自治協議会で取り組むには規模が大きすぎる。小さい規模であれば、「課題解決きらめきサポートプロジェクト」に提案してもらうことで、対応できるのではないか。

④ その他

第1部会で取り組んでいる「課題解決きらめきサポートプロジェクト」の実施について、検討しました。

提案団体と自治協議会とが協働で取り組むことができる同事業は、「区民主動サポート宣言」の理念に適っていること及び他の区へも取り組みが広がってきていることから継続して実施し、また、来年度の取組み方として、採択にも各部会が関わり、採択された事業はその事業と関連する審議分野の部会で取り組んでいく方がよいのではないかと意見がまとまりました。

(3) 閉会